

「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007  
報 告 書

2008年（平成20年）3月

認知症介護研究・研修センター（東京・大府・仙台）  
住友生命保険相互会社

## ごあいさつ

「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーンは今年で4回目を迎えました。第1回目は平成16（2004）年の秋に行われた「国際アルツハイマー病協会第20回国際会議・京都・2004」の場において先進的な町づくり活動の報告が行われ、認知症を知り地域をつくる国民的な運動の先駆けとなりました。

その後も本キャンペーンには毎年、日本各地で認知症になっても安心して暮らせる町づくり活動を続けておられる皆様からの御報告をお寄せいただきました。そしてこれらの事例を広く全国にお届けして学びあうことに努めてまいりました。

このたびの「『認知症でもだいじょうぶ』町づくりキャンペーン」には各地から49に及ぶ活動報告が寄せられました。これらの活動を、堀田力委員長をはじめとする「地域活動推薦委員会」の皆様が検討してくださいました。そして各地域で町づくりの参考として推薦された8つの活動が「町づくり2007モデル」として報告されます。

いずれの活動の中にも認知症の人と地域の人々がともに尊重しあって暮らしていくための理念と実践が詰まっています。とくに今年のモデルでは、民間企業や学校も含めて多様な立場の方からその活動を報告していただくことになりました。このことは、認知症の人の尊厳を守り、その力を生かしてともに暮らしていくという現代社会の大切な課題が、単に医療・福祉関係者にかかわる事柄ではなく広く市民一人ひとりにかかわることであることを端的に示していると思います。

私たちができることから始めて日本全国のあらゆる地域が認知症になっても安心して暮らせる地域とするために、この発表会が今後の活動のための大きなステップとなることを期待しています。

「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007

実行委員長 長谷川 和夫

## 報告書の刊行にあたって

『認知症でもだいじょうぶ』町づくりキャンペーン2007では、2007年6月より全国で認知症の人を地域で支える活動を展開している活動報告の募集を行い、慎重な検討の結果、2008年1月に「町づくり2007モデル」を決定しました。

そして2008年3月に「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーン報告会の場において、表彰式と「町づくり2007モデル」団体による地域活動の発表を行いました。

本キャンペーンは、厚生労働省と認知症にかかわる各団体による国民的な「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンの一環として行ったものです。

各活動報告の本報告書への収録にあたっては、活動している団体および個人の表現のスタイルを尊重し、原則として原稿に改変を加えることは行っていません。このため、表記に不統一の部分があります。

『認知症でもだいじょうぶ』町づくりキャンペーン2007は、厚生労働省老人保健健康増進等事業の補助金および住友生命保険相互会社のご支援をいただき運営が行われました。あらためて感謝申し上げます。

本報告書が、全国各地で認知症の人とそのご家族を支える活動を続けておられる皆様のお役に立つように願っています。

2008年3月

「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007 事務局

## 目 次

### I. 「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007総括

1. 「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007実行委員長から経過報告(発表会より) 3
2. 「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007地域活動推薦委員長から総括(発表会より) 4
3. 全応募者への応援メッセージ 5

### II. 「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007へ全国から寄せられた活動一覧

1. 全国から寄せられた地域活動 応募一覧 11
2. 各地域報告の情報データベース(町づくりキャンペーンホームページ)の紹介 13
3. 「町づくり2007モデル」一覧 14
4. 「町づくり2007モデル」
  - 活動報告(1) 「認知症になっても安心して暮らせるマンション」 15  
中銀インテグレーション株式会社(東京都中央区)
  - 活動報告(2) 「当たり前の特権である地域行事・老人会への参加を目指して」 23  
社会福祉法人 ふるさと会 グループホーム福寿の家(高知県吾川郡いの町)
  - 活動報告(3) 「教科 奉仕『認知症と地域について考える』授業」 37  
東京都立拝島高等学校(東京都昭島市)
  - 活動報告(4) 「この町にこんな病院があったらいいな(地域にとけ込んだ認知症センターの取り組み)」 50  
財団法人 豊郷病院 老人性認知症センター(オアシス)(滋賀県犬上郡豊郷町)
  - 活動報告(5) 「おじいさん、おばあさん、いっしょにキャンプしませんか！」  
認知症高齢者と楽しむ『あしがらシニアキャンプ』 64  
あしがらシニアキャンプ実行委員会(神奈川県南足柄市・足柄上郡5町)／  
社団法人 日本キャンプ協会(東京都渋谷区)
  - 活動報告(6) 「認知症の人と家族のつどいと支援者養成研修」 78  
社団法人 認知症の人と家族の会富山県支部(富山県富山市)
  - 活動報告(7) 「若年性認知症デイサービス“おりづる工務店”の取り組み」 86  
社会福祉法人 町田市福祉サービス協会 おりづる苑せりがや(東京都町田市)
  - 活動報告(8) 「地域の認知症の拠点としてのグループホームの活動」 98  
NPO法人 ほのぼの朝日ネットワーク(岐阜県高山市)
5. 各地域活動概要 110

### III. 資料編

1. 実施要領 153
  2. 推薦基準 157
  3. 発表会について 158
- 附:活動経過 161

### III. 資 料 編

## 1. 実施要領

### 「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007

#### I. 目的

認知症の人の本来の力を活かしてともに暮らす町づくりの活動（以下「町づくり活動」）を全国ではぐくむことを目的として、認知症の人を地域で支える活動を広く全国から募集し、各地域の人々の町づくりの参考となる活動を紹介するものです。

#### II. 実行委員会

委員長	長谷川和夫 [認知症介護研究・研修東京センター長]
委員	加藤 伸司 [認知症介護研究・研修仙台センター長]
	木内喜美男 [厚生労働省大臣官房審議官 (社会、障害保健福祉、老健担当)]
	高見 国生 [社団法人 認知症の人と家族の会 代表理事]
	柳 務 [認知症介護研究・研修大府センター長] (五十音順)

#### III. 実施内容

##### 1. 名称

「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007

##### 2. 応募者

どなたでもご応募いただけます。「町づくり活動」に取り組んでいる方なら個人、団体も問いません。

##### 3. 募集期間

募集開始：平成19年（2007年）6月15日

応募締切：平成19年（2007年）10月15日

##### 4. 重複応募・再応募の扱い

①学会等で既発表の内容でも応募いただけます。

②過去の本キャンペーンに応募された方も再応募いただけます。過去のキャンペーンで受賞された方は、受賞内容での再応募はご遠慮ください。

## 5. 応募方法

あなたが取り組んでいる「町づくり活動」を報告にまとめて「応募用紙」を添付の上お送り下さい。

内容は、以下の項目に沿って整理してください。

### <原稿作成>

- (1) 概要※(2ページ以内：活動の要約1ページ、図表写真1ページ)
- (2) 地域の紹介(2ページ以内：図表写真を含む)
- (3) 活動の内容(4ページ以内：図表写真を含む)
- (4) 活動の成果と今後の展望(4ページ以内：図表写真を含む)

※：後日全応募分を「報告書」として作成する際に、活動の要約ページをそのまま転載いたします。活動の要約ページは、上記(2)～(4)の内容を簡潔にお書き下さい。

### <書式>

ワープロまたは手書き。いずれもA4版・縦・横書き・10.5ポイント(ワープロの場合)で作成してください。

### <送付方法>

下記のいずれかで送付ください。

- (1) フロッピーディスク・CD-ROMで送付
- (2) 添付ファイルとしてメールで送付
- (3) 印刷(または手書き)した書類を郵送

### <注意事項>

- (1) 個人情報・肖像権などの保護には十分にご配慮ください。
- (2) 応募書類等は返却いたしません。

## 6. 学びあうモデルの推薦

本キャンペーンは、活動の優劣を競い合うものではありません。

認知症の人と認知症の人を支える人がともに安心して暮らせる町づくりの実践を全国で学びあうためのモデル(以下、「町づくり2007モデル」とします)を決定し、全国に紹介するものです。

「町づくり2007モデル」は、

- ①「認知症を知る」ための取り組みであるか、
- ②認知症の人同士が出会い、話し合い、ともに参加する取り組みであるか、
- ③地域にある生活関連領域の人々が参画・協働する取り組みとなっているか、
- ④地域の人々と行政が協働する取り組みとなっているか、
- ⑤今後あるいは他地域での展開可能性のある取り組みであるか、

この5点を基準として地域活動推薦委員会によって推薦、決定されます。

## 7. 地域活動推薦委員会

委員長	堀田 力	[財団法人 さわやか福祉財団 理事長・弁護士]
委員	池田 恵利子	[いけだ後見支援ネット 代表]
	江川 紹子	[ジャーナリスト]
	勝田 登志子	[社団法人 認知症の人と家族の会 副代表理事]
	児玉 桂子	[日本社会事業大学 教授]
	辰濃 和男	[日本エッセイスト・クラブ 理事長]
	入村 明	[新潟県妙高市 市長]
	藤井 克徳	[きょうされん 代表]
	村上 達也	[茨城県東海村 村長]
	村田 幸子	[福祉ジャーナリスト]
	吉田 一平	[ゴジカラ村 代表]

(五十音順)

## 8. 発表・報告

### 1) 活動発表会

①平成20年(2008年)3月予定

②発表会は「認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議」と共催で、東京都内で行います。また、受賞団体の自治体首長へ最終推薦結果と発表会についてご案内します。

③発表会当日、受賞団体の壇上での発表の他、会場においてポスターセッションも行う予定です。

### 2) 報告

①本キャンペーンにお寄せいただいた「町づくり活動」は、同じ課題に取り組んでおられる方々の参考に供するため、「報告書」を作成します。

②町づくりの実践の学びあいにつながるよう、ホームページでも「町づくり活動」を紹介いたします。

③推薦活動事業実践者の了解を前提にマスコミ等に紹介することがあります。

## 9. 応募・問い合わせ先

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西1-12-1

認知症介護研究・研修東京センター

「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007 事務局

電話：03-3334-3073 (FAX兼用)

電話受付時間：月～金(祝除く) 10:00～16:00

E-mail: machican@dcnet.gr.jp

<http://www.dcnet.gr.jp/campaign/>



#### 10. スケジュール概略

平成19年	6月15日	募集開始
〃	10月15日	応募締切
〃	11月30日	第一次推薦委員会
平成20年	1月15日	最終推薦委員会
〃	3月1日	発表会（「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーン報告会 と同時開催）

◆本キャンペーンのホームページに情報を随時掲載します。

<http://www.dcnet.gr.jp/campaign>

#### IV. 主催等

主 催	認知症介護研究・研修東京センター 認知症介護研究・研修大府センター 認知症介護研究・研修仙台センター
共 催	社団法人 認知症の人と家族の会
協 賛	住友生命保険相互会社
後 援	厚生労働省 国際長寿センター、(財)さわやか福祉財団、 (社)成年後見センター・リーガルサポート、(社福)全国社会福祉協議会、 全国知事会、全国町村会、(NPO)全国認知症グループホーム協会、 全国農業協同組合中央会、(社)全国老人保健施設協会、 宅老所・グループホーム全国ネットワーク、(社)日本医師会、 日本介護支援専門員協会、日本介護福祉学会、(社)日本介護福祉士会、 (社)日本看護協会、日本高齢者虐待防止学会、(社)日本社会福祉士会、 日本生活協同組合連合会、(社)日本精神科看護技術協会、 (社)日本精神科病院協会、(社)日本精神保健福祉士協会、日本地域福祉学会、 日本認知症ケア学会、日本放送協会、日本療養病床協会、日本老年精神医学会、 福祉自治体ユニット、(財)ぼけ予防協会 (五十音順)

## 2. 推薦基準

(地域活動推薦委員会資料より)

### ① 「認知症を知る」ための取り組み

地域の多様な人々が認知症と支援について理解を広めるための先進的な取り組みがなされている。

- 理解を広げるための直接的取り組みではないが、認知症の人と支援についての理解を町に広げるインパクトを持っている。
- 理解を町に広げるための取り組みが行われており、これまでになく特徴的である。  
(特徴的：対象、方法、活動形態等に特徴がある)
- 理解が広がった成果が実際に出ている。

### ② 認知症の人同士が出会い、話し合い、ともに参加する地域の活動

地域の認知症の人同士が出会い、自分たちの声や力を出しながら、参加する地域での活動が取り組まれている。

- 認知症の人同士が出会い、話し合う場(機会)を地域の中でつくっている。
- 認知症の人自らが活動に参加している。
- 認知症の人の参加や活動を支援するための配慮や工夫がなされている。
- 認知症の人の声が広く地域に発信されている。

### ③ 地域にある生活関連領域の人々が参画・協働する取り組み

地域での住民生活に関連した多様な業種(商店、交通機関、金融機関など)や関係者が加わった先進的な活動が展開されている。

- 地域にある生活関連領域の業種・関係者が主体的に活動に参加している。
- 参画している生活関連領域の業種・関係者がこれまでになく特徴的である。
- 生活関連領域の特徴を活かして利用者や家族を支援した成果が実際に出ている。
- 生活関連領域の人々の参加や協働を推進するための工夫がなされている。

### ④ 地域の人々と行政が協働する取り組み

地域の人々と行政とが協働しながら、共に暮らす町づくりを進めている先進的取り組みがなされている。

- 地域の人々と行政が協働して活動を展開している。
- 取り組み内容が特徴的である。(特徴的：対象、方法、活動形態等に特徴がある)
- 町づくりに向けて行政が市民に積極的に働きかけている
- 町づくりに向けて市民が行政に積極的に働きかけている

### ⑤ 今後や他地域での展開可能性

今後さらに継続・発展する可能性や他の地域でも展開する可能性がある内容や方法である。

- 今後さらに継続・発展していく可能性がある。(可能性：計画、体制、実行力)
- どの地域でも求められている取り組みである。
- 他の地域が実情に応じて実施しやすい取り組みである。

### 3. 発表会について

平成20年3月1日(土) 開催 於：東京、全社協・灘尾ホール

表彰：「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007実行委員長 長谷川 和夫

受賞：

「認知症になっても安心して暮らせる  
マンション」

中銀インテグレーション株式会社

(東京都中央区)

管理業務部部长 大谷 清美



受賞：

「当たり前の権利である地域行事・老人会への参加を  
目指して」

社会福祉法人 ふるさと会 グループホーム福寿の家  
(高知県吾川郡いの町)

高橋 須美(社会福祉法人 ふるさと会 中追の里施設  
長)



受賞：

「教科 奉仕『認知症と地域について考える』授業」

東京都立拝島高等学校

(東京都昭島市)

教諭 「総合的な学習の時間」担当

手塚 比目古



受賞：

「この町にこんな病院があつたらいいな(地域にとけ  
込んだ認知症センターの取り組み)」

財団法人 豊郷病院 老人性認知症センター

(オアシス)

(滋賀県犬上郡豊郷町)

センター長 成田 実



受賞：

「おじいさん、おばあさん、いっしょにキャンプしませんか！認知症高齢者と楽しむ『あしがらシニアキャンプ』」

あしがらシニアキャンプ実行委員会（神奈川県南足柄市・足柄上郡5町）／社団法人 日本キャンプ協会（東京都渋谷区）

山本 恵子（神奈川県足柄上保健福祉事務所 保健予防課 主査）



受賞：

「認知症の人と家族のつどいと支援者養成研修」  
社団法人 認知症の人と家族の会富山県支部（富山県富山市）

副代表 中島 禮子



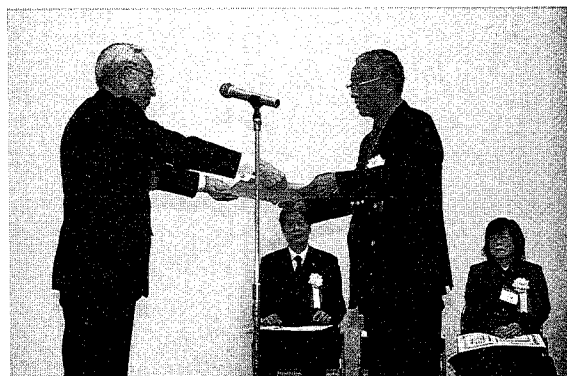
受賞：

「若年性認知症デイサービス“おりづる工務店”の取り組み」

社会福祉法人 町田市福祉サービス協会 おりづる苑せりがや

（東京都町田市）

理事長 池田 敏彦



受賞：

「地域の認知症の拠点としてのグループホームの活動」

NPO法人 ほのぼの朝日ネットワーク

（岐阜県高山市）

理事長兼グループホーム管理者 高井 道子



◇一緒に上京した施設の入居者、スタッフとともに

## 附:活動経過

年月日	主なイベント	広報
平成19年		
5月21日	実行委員会	
6月15日	キャンペーン告知プレスリリース キャンペーン募集開始	・「参加のしおり」 ・ホームページ掲載
10月15日	応募締切	
11月30日	第一次推薦委員会 於：認知症介護・研究研修東京センター	
平成20年		
1月15日	最終推薦委員会（地域活動推薦委員会） 於：虎ノ門パストラルホテル	
1月17日	最終推薦結果プレスリリース	・ホームページ掲載 推薦結果発表
3月1日	「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーン報告会 於：灘尾ホール 第4回認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議 「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007発表会	・報告会当日用冊子

### [事務局]

事務局長	森重 賢治 (認知症介護研究・研修東京センター)
事務局次長	澤 春生 (財団法人 住友生命健康財団)
	森坂 清 (認知症介護研究・研修大府センター)
	堀村 和弘 (認知症介護研究・研修仙台センター)
事務局員	永田久美子 (認知症介護研究・研修東京センター)
	小野寺敦志 (認知症介護研究・研修東京センター)
	諏訪さゆり (認知症介護研究・研修東京センター)
	上村 通夫 (認知症介護研究・研修東京センター)
	松崎 勝巳 (認知症介護研究・研修東京センター)
	多胡 岳志 (認知症介護研究・研修東京センター)
	富島 理恵 (認知症介護研究・研修東京センター)
	大上 真一 (認知症介護研究・研修東京センター)
	中島民恵子 (慶應義塾大学大学院)
	渡辺 紀子 (認知症介護研究・研修東京センター)
	有村瑠美子 (認知症介護研究・研修東京センター)
	大塚 愛 (認知症介護研究・研修東京センター)

---

「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007 報告書  
2008（平成20）年3月

---

編集：社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター内  
「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007 事務局  
〒168-0071 東京都杉並区高井戸西 1-12-1  
電話：03-3334-3073

発行：社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター  
〒168-0071 東京都杉並区高井戸西 1-12-1  
電話：03-3334-2173